令和６年度における大阪府内のダイオキシン類環境調査結果の概要

大阪府及び府内の一部市(※)では、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、一般環境中のダイオキシン類の常時監視を行っています。

（※）府内の一部市：大阪市、堺市、豊中市、吹田市、高槻市、枚方市、八尾市、寝屋川市、東大阪市

また、これまでに環境基準を超過した河川について、その原因の特定や汚染範囲の確定などのために、大阪府等が追跡調査を行っています。

令和６年度に実施した常時監視及び追跡調査の結果の概要は以下のとおりです。

概　要

（１）常時監視

○　大気 23 地点、河川水質 64 地点、河川底質 63 地点、海域水質・底質各 8 地点、地下水質 20 地点及び土壌 24 地点においてダイオキシン類の常時監視を行いました。

○　大気、河川水質・底質、海域水質・底質、地下水質及び土壌では、調査した全ての地点で、環境基準を達成していました。

○　ダイオキシン類の常時監視を開始した平成 12 年度からの推移をみると、府内における大気中の濃度は大幅に改善した後横ばいで推移しており、河川水質・底質及び海域水質・底質中の濃度は緩やかに改善した後横ばいで推移しています。また、地下水質、土壌及び海域水質では、調査した 25 年間の全ての地点で環境基準を達成しました。

○　今後も常時監視を継続するとともに、環境基準を超過した地点については追跡調査を実施した上で、関係機関と連携して基準達成に向けた取組みを行っていきます。

（２）追跡調査

○　過去の常時監視で環境基準を超過した河川のうち２河川（三箇牧水路、左門殿川）で追跡調査を行いました。

①三箇牧水路

・平成 18 年度の底質除去工事後の状況を確認するために水質調査（５地点）と底質調査（３地点）を継続して実施しました。

・令和６年度は、水質が３地点、底質が１地点で環境基準を超過しましたが、底質除去工事前と比べて水質、底質ともに改善しました。

②左門殿川

・「辰巳橋」において、令和３年度の常時監視で底質の環境基準を超過したため、追跡調査を実施しました。

・令和６年度は、環境基準の超過はありませんでした。

○　今後も環境基準を超過した河川について水質及び底質の追跡調査を行い、原因究明や濃度変動の状況把握に努めるとともに、周辺事業所に対して排出基準遵守の指導を継続します。

１　常時監視調査結果

令和６年度のダイオキシン類常時監視結果及び常時監視を開始した平成 12 年度からの調査結果の推移は次のとおりです（表１、表２参照)。

（１）大気〔環境基準　年間平均値 0.6 pg-TEQ/m³ 以下〕[図１、図６、表３]

令和６年度の大気中のダイオキシン類調査は 23 地点で実施しました。年間平均値でみると、濃度範囲は 0.0064～0.040 pg-TEQ/m³、平均値は 0.015 pg-TEQ/m³ であり、各地点とも環境基準を達成しました。

また、ダイオキシン類濃度（DXN 濃度）の平均値の経年変化をみると、平成 12 年度の測定開始以降、大きく改善し、その後、徐々に改善は緩やかになり、近年は横ばいで推移しています。

なお、平成 12 年度から平成 14 年度の間では、一部の地点で環境基準を達成していませんでしたが、平成 15 年度以降は、全ての地点で環境基準を達成しています。

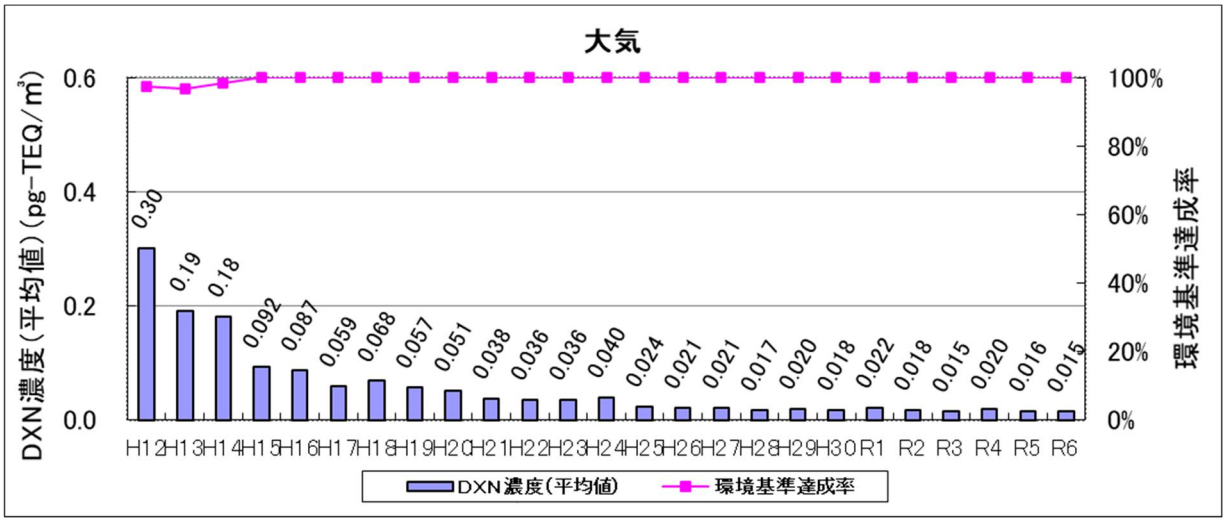

図１　ダイオキシン類常時監視結果の推移（大気）

（２） 公共用水域の水質〔環境基準　年間平均値１ pg-TEQ/L 以下〕

ア　河川水質［図２、図７、表４］

令和６年度の河川水質の調査は 64 地点で実施しました。年間平均値でみると、濃度範囲は 0.035～0.70pg-TEQ/L、平均値は 0.21 pg-TEQ/L でした。

また、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、平成 12 年度の測定開始以降、緩やかに改善し、近年は横ばいで推移しています。

なお、環境基準達成率は、平成 12 年度から平成 19 年度までは 90%をやや下回っていましたが、平成 20 年度以降は 90%以上で推移しています。

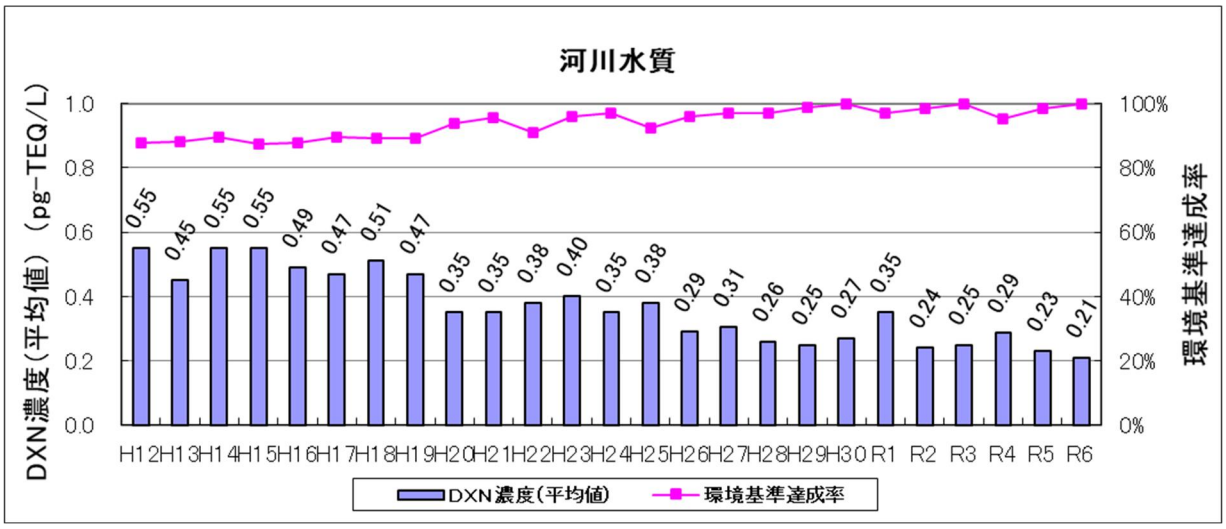

図２　ダイオキシン類常時監視結果の推移（河川水質）

イ　海域水質［図３、図７、表５］

令和６年度の海域水質の調査は８地点で実施しました。年間平均値でみると、濃度範囲は 0.026～0.17 pg-TEQ/L、平均値は 0.059 pg-TEQ/L であり、各地点とも環境基準を達成しました。

また、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、平成 12 年度の測定開始以降、緩やかに改善し、近年は横ばいで推移しています。

なお、平成 12 年度からは、全ての地点で環境基準を達成しています。

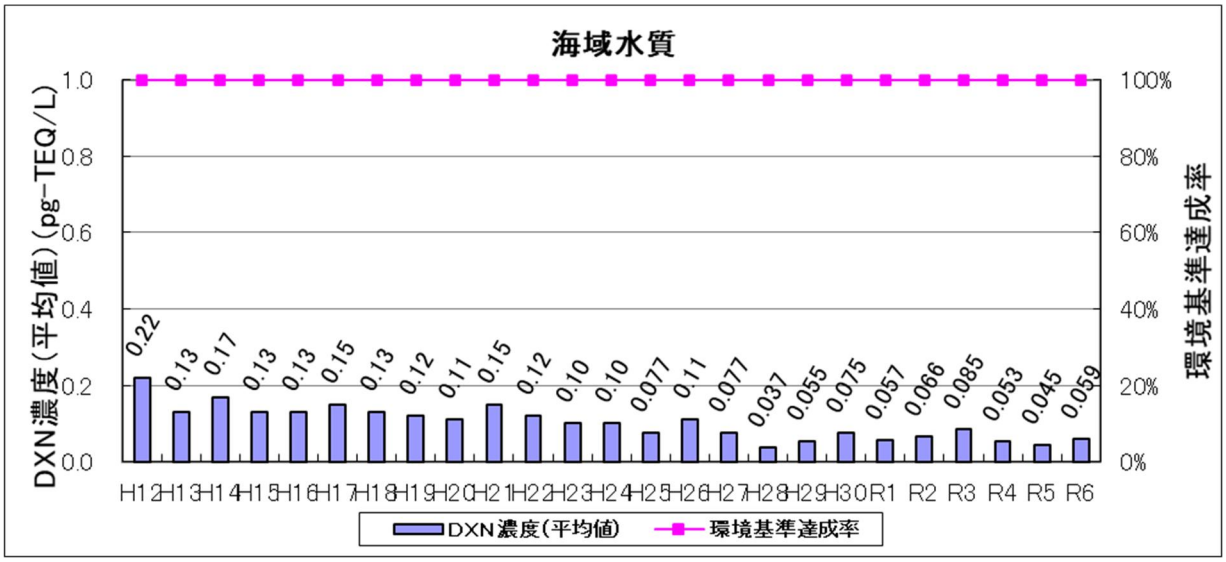

図３　ダイオキシン類常時監視結果の推移（海域水質）

（３）公共用水域の底質〔環境基準　150 pg-TEQ/g 以下〕

ア　河川底質［図４、図７、表４］

令和６年度の河川底質の調査は 63 地点で実施しました。濃度範囲は 0.093～150 pg-TEQ/g、平均値は 15 pg-TEQ/g であり、各地点とも環境基準を達成しました。

また、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、平成 12 年度の測定開始以降、緩やかに改善し、近年は横ばいで推移しています。

底質の環境基準は平成 14 年９月から適用されており、環境基準達成率は、平成 14 年度は 83.6%でしたが、平成 15 年度以降は 90%以上で推移しています。

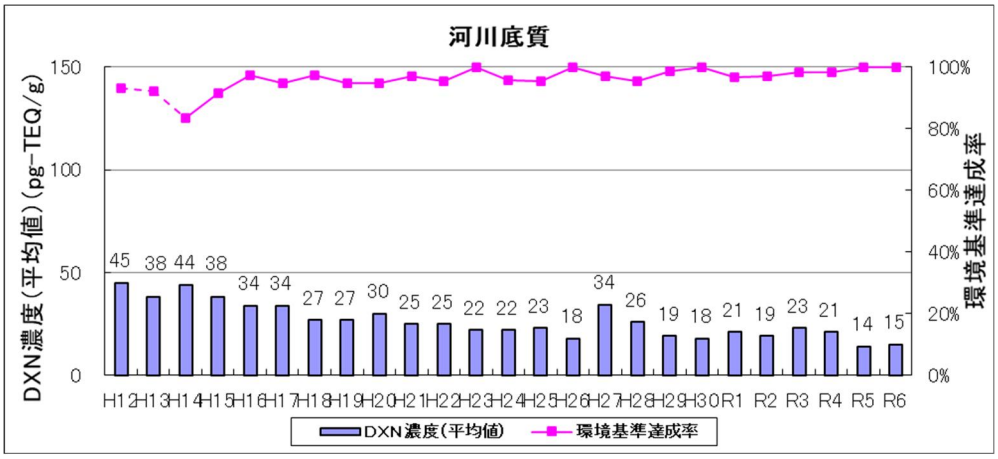

図４　ダイオキシン類常時監視結果の推移（河川底質）

イ　海域底質［図５、図７、表５］

令和６年度の海域底質の調査は８地点で実施しました。濃度範囲は 1.1～31 pg-TEQ/g、平均値は 11 pg-TEQ/g であり、各地点とも環境基準を達成しました。

また、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、平成 12 年度の測定開始以降、緩やかに改善し、近年は横ばいで推移しています。

底質の環境基準は平成 14 年９月から適用されており、平成 16 年度以降、全ての地点で環境基準を達成しています。

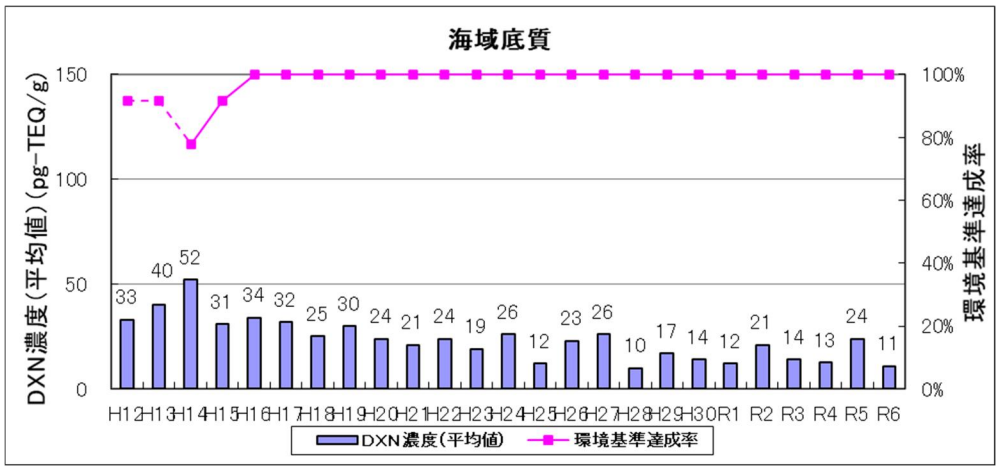

図５　ダイオキシン類常時監視結果の推移（海域底質）

（４）地下水質〔環境基準　年間平均値１ pg-TEQ/L 以下〕［表６］

令和６年度の地下水質の調査は、20 地点で実施しました。濃度範囲は 0.015～0.54 pg-TEQ/L、平均値は 0.087 pg-TEQ/L であり、各地点とも環境基準を達成しました。

地下水質調査は、人口密度や工場等の立地状況を勘案し、概ね５年サイクルで同一調査区域を調査するローリング方式により毎年地点を変えて行っており、平成 12 年度から令和６年度の 25 年間にのべ 669 地点で調査を行った結果、全ての地点で環境基準を達成しています。

（５）土壌〔環境基準　1,000 pg-TEQ/g 以下〕［表７］

令和６年度の土壌調査は 24 地点で実施しました。濃度範囲は 0.0017～11 pg-TEQ/g、平均値は 2.1 pg-TEQ/g であり、各地点とも環境基準を達成しました。

土壌調査は人口密度や工場等の立地状況を勘案し、概ね５年サイクルで同一調査区域を調査するローリング方式により毎年地点を変えて行っており、平成 12 年度から令和６年度の 25 年間にのべ 1,070 地点で調査を行った結果、全ての地点で環境基準を達成しています。

（６）環境基準超過地点に係る対応

ダイオキシン類対策特別措置法に基づく常時監視を開始した平成 12 年度から令和６年度の河川水質において、恩智川「三池橋」では４回、「住道新橋」では 11 回環境基準を超過しましたが、上水道水源としての利用もないことから、現時点で健康被害の恐れはないと考えられます。引き続き常時監視により経過を監視し、環境基準の達成に向けた取組みを進めていきます。

表１　令和６年度ダイオキシン類常時監視結果一覧

調査項目（単位）		調　査 地点数	環境基準値 超過地点数	濃度範囲※	平均値※	環境 基準
大気　（pg-TEQ/m³）		23	0	0.0064　～　0.040	0.015	0.6
公共用水域水質（pg-TEQ/L）						
	河　川	64	0	0.035　～　0.70	0.21	1
	海　域	8	0	0.026　～　0.17	0.059	
公共用水域底質（pg-TEQ/g）						
	河　川	63	0	0.093　～　150	15	150
	海　域	8	0	1.1　～　31	11	
地下水質　（pg-TEQ/L）		20	0	0.015　～　0.54	0.087	1
土壌　（pg-TEQ/g）						
	一般環境把握調査	24	0	0.0017　～　11	2.1	1,000

※平均値は各地点の年間平均値の平均値であり、濃度範囲は年間平均値の最小値及び最大値である。

表２　ダイオキシン類年度別常時監視結果一覧

調査項目			平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
大気		濃度範囲	0.073 ～0.64	0.036 ～1.7	0.030 ～0.84	0.029 ～0.35	0.029 ～0.28	0.016 ～0.15	0.016 ～0.19	0.017 ～0.17	0.022 ～0.13	0.014 ～0.096	0.012 ～0.098	0.0089 ～0.15
		平均値	0.30	0.19	0.18	0.092	0.087	0.059	0.068	0.057	0.051	0.038	0.036	0.036
		調査地点数	40	58	58	59	56	54	50	45	40	40	39	38
		環境基準超過地点数	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		環境基準達成地点数	39	56	57	59	56	54	50	45	40	40	39	38
		環境基準達成率	97.5%	96.6%	98.3%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
公共用水域水質	河川	濃度範囲	0.051 ～2.9	0.064 ～3.9	0.069 ～2.7	0.059 ～7.0	0.041 ～2.4	0.028 ～4.1	0.054 ～3.2	0.046 ～2.0	0.023 ～1.5	0.033 ～2.4	0.055 ～1.6	0.064 ～3.4
		平均値	0.55	0.45	0.55	0.55	0.49	0.47	0.51	0.47	0.35	0.35	0.38	0.40
		調査地点数	73	76	76	72	74	77	75	75	79	66	66	73
		環境基準超過地点数	9	9	8	9	9	8	8	8	5	3	6	3
		環境基準達成地点数	64	67	68	63	65	69	67	67	74	63	60	70
		環境基準達成率	87.7%	88.2%	89.5%	87.5%	87.8%	89.6%	89.3%	89.3%	93.7%	95.5%	90.9%	95.9%
	海域	濃度範囲	0.041 ～1.0	0.043 ～0.44	0.069 ～0.60	0.020 ～0.35	0.030 ～0.63	0.042 ～1.0	0.028 ～0.48	0.026 ～0.64	0.013 ～0.38	0.041 ～0.50	0.038 ～0.27	0.042 ～0.25
		平均値	0.22	0.13	0.17	0.13	0.13	0.15	0.13	0.12	0.11	0.15	0.12	0.10
		調査地点数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
		環境基準超過地点数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		環境基準達成地点数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
		環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
公共用水域底質	河川	濃度範囲	0.18 ～510	0.11 ～320	0.17 ～370	0.16 ～370	0.12 ～540	0.22 ～510	0.23 ～300	0.18 ～250	0.10 ～500	0.21 ～160	0.12 ～190	0.17 ～150
		平均値	45	38	44	38	34	34	27	27	30	25	25	22
		調査地点数	72	78	73	70	74	77	75	75	79	66	66	73
		環境基準超過地点数	(5)	(6)	12	6	2	4	2	4	4	2	3	0
		環境基準達成地点数	(67)	(72)	61	64	72	73	73	71	75	64	63	73
		環境基準達成率	(93.1%)	(92.3%)	83.6%	91.4%	97.3%	94.8%	97.3%	94.7%	94.9%	97.0%	95.5%	100.0%
	海域	濃度範囲	3.3 ～160	3.2 ～190	1.5 ～190	0.67 ～170	1.7 ～150	1.2 ～100	1.2 ～84	1.0 ～110	2.5 ～88	0.41 ～71	0.92 ～100	1.1 ～64
		平均値	33	40	52	31	34	32	25	30	24	21	24	19
		調査地点数	12	12	9	12	12	12	12	12	12	12	12	12
		環境基準超過地点数	(1)	(1)	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		環境基準達成地点数	(11)	(11)	7	11	12	12	12	12	12	12	12	12
		環境基準達成率	(91.7%)	(91.7%)	77.8%	91.7%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

調査項目			平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
大気		濃度範囲	0.011 ～0.13	0.0084 ～0.058	0.0084 ～0.053	0.0086 ～0.048	0.0063 ～0.054	0.0054 ～0.045	0.0062 ～0.048	0.0073 ～0.077	0.0065 ～0.047	0.0071 ～0.039	0.0061 ～0.044	0.0065 ～0.044	0.0064 ～0.040
		平均値	0.040	0.024	0.021	0.021	0.017	0.020	0.018	0.022	0.018	0.015	0.020	0.016	0.015
		調査地点数	39	39	36	32	32	28	29	29	29	27	25	23	23
		環境基準超過地点数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		環境基準達成地点数	39	39	36	32	32	28	29	29	29	27	25	23	23
		環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
公共用水域水質	河川	濃度範囲	0.031 ～2.5	0.064 ～2.1	0.022 ～1.2	0.036 ～1.8	0.021 ～1.2	0.045 ～1.1	0.054 ～0.81	0.047 ～3.5	0.055 ～1.1	0.039 ～0.83	0.046 ～1.6	0.037 ～1.5	0.035 ～0.70
		平均値	0.35	0.38	0.29	0.31	0.26	0.25	0.27	0.35	0.24	0.25	0.29	0.23	0.21
		調査地点数	70	67	71	67	67	71	63	63	69	63	64	68	64
		環境基準超過地点数	2	5	3	2	2	1	0	2	1	0	3	1	0
		環境基準達成地点数	68	62	68	65	65	70	63	61	68	63	61	67	64
		環境基準達成率	97.1%	92.5%	95.8%	97.0%	97.0%	98.6%	100%	96.8%	98.6%	100%	95.3%	98.5%	100%
	海域	濃度範囲	0.020 ～0.37	0.022 ～0.32	0.027 ～0.48	0.029 ～0.19	0.017 ～0.067	0.013 ～0.25	0.054 ～0.19	0.048 ～0.077	0.051 ～0.094	0.029 ～0.24	0.028 ～0.084	0.031 ～0.094	0.026 ～0.17
		平均値	0.10	0.077	0.11	0.077	0.037	0.055	0.075	0.057	0.066	0.085	0.053	0.045	0.059
		調査地点数	10	10	10	10	8	8	8	8	8	8	8	8	8
		環境基準超過地点数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		環境基準達成地点数	10	10	10	10	8	8	8	8	8	8	8	8	8
		環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
公共用水域底質	河川	濃度範囲	0.14 ～190	0.13 ～190	0.12 ～150	0.074 ～1100	0.14 ～490	0.15 ～300	0.16 ～150	0.16 ～330	0.14 ～250	0.15 ～370	0.16 ～270	0.21 ～120	0.093 ～150
		平均値	22	23	18	34	26	19	18	21	19	23	21	14	15
		調査地点数	69	67	72	67	67	72	63	63	70	63	64	68	63
		環境基準超過地点数	3	3	0	2	3	1	0	2	2	1	1	0	0
		環境基準達成地点数	66	64	72	65	64	71	63	61	68	62	63	68	63
		環境基準達成率	95.7%	95.5%	100%	97.0%	95.5%	98.6%	100%	96.8%	97.1%	98.4%	98.4%	100%	100%
	海域	濃度範囲	0.44 ～100	1.0 ～36	1.8 ～79	0.66 ～100	0.34 ～17	3.5 ～63	1.3 ～45	1.8 ～20	0.84 ～100	2.3 ～45	1.7 ～24	1.1 ～130	1.1 ～31
		平均値	26	12	23	26	10	17	14	12	21	14	13	24	11
		調査地点数	10	10	10	10	8	8	8	8	8	8	8	8	8
		環境基準超過地点数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		環境基準達成地点数	10	10	10	10	8	8	8	8	8	8	8	8	8
		環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

(注)底質の環境基準は平成 14 年９月から適用。
　　単位は大気 pg-TEQ/m^3、水質 pg-TEQ/L、底質 pg-TEQ/g である。

調査項目			平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
地下水質		濃度範囲	0.00081 ～0.48	0.016 ～0.91	0.022 ～0.81	0.018 ～0.47	0.010 ～0.73	0.011 ～0.14	0.024 ～0.48	0.013 ～0.13	0.014 ～0.086	0.022 ～0.17	0.024 ～0.29	0.016 ～0.25
		平均値	0.10	0.16	0.13	0.11	0.097	0.045	0.10	0.031	0.054	0.057	0.072	0.070
		調査地点数	41	47	47	45	44	31	29	28	17	18	21	21
		環境基準超過地点数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		環境基準達成地点数	41	47	47	45	44	31	29	28	17	18	21	21
		環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
土壌	一般環境	濃度範囲	0.0023 ～56	0.0012 ～30	0.0010 ～26	0.00019 ～30	0.00012 ～42	0.0028 ～70	0.031 ～16	0.019 ～84	0.0049 ～24	0.037 ～10	0.0064 ～61	0.0021 ～28
		平均値	4.3	2.4	2.6	2.0	2.2	3.3	2.9	4.4	2.7	1.4	4.2	1.8
		調査地点数	109	118	87	98	94	48	37	37	27	26	31	29
		環境基準超過地点数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		環境基準達成地点数	109	118	87	98	94	48	37	37	27	26	31	29
		環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	発生源周辺	濃度範囲	9.8 ～92	0.11 ～50	0.0039 ～35	0.073 ～53	0.0036 ～5.0	－	－	－	－	－	－	－
		平均値	38	10	4.5	7.1	1.8	－	－	－	－	－	－	－
		調査地点数	3	31	31	16	10	－	－	－	－	－	－	－
		環境基準超過地点数	0	0	0	0	0	－	－	－	－	－	－	－
		環境基準達成地点数	3	31	31	16	10	－	－	－	－	－	－	－
		環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	－	－	－	－	－	－	－

調査項目			平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
地下水質		濃度範囲	0.015 ～0.16	0.014 ～0.090	0.018 ～0.18	0.014 ～0.10	0.017 ～0.14	0.011 ～0.21	0.046 ～0.15	0.041 ～0.31	0.034 ～0.53	0.016 ～0.091	0.015 ～0.56	0.026 ～0.15	0.015 ～0.54
		平均値	0.044	0.039	0.066	0.037	0.047	0.047	0.065	0.077	0.085	0.053	0.072	0.052	0.087
		調査地点数	21	21	21	21	21	22	22	24	26	21	20	20	20
		環境基準超過地点数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		環境基準達成地点数	21	21	21	21	21	22	22	24	26	21	20	20	20
		環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
土壌	一般環境	濃度範囲	0.00042 ～8.3	0.0048 ～110	0.0069 ～14	0.026 ～8.4	0.0012 ～5.8	0.021 ～8.3	0.0026 ～8.3	0 ～15	0.033 ～16	0.0013 ～25	0.019 ～4.0	0.0096 ～11	0.0017 ～11
		平均値	1.8	6.4	1.3	1.1	1.0	1.4	0.93	2.1	1.9	2.8	0.78	1.5	2.1
		調査地点数	27	27	27	26	24	24	24	27	28	24	23	24	24
		環境基準超過地点数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		環境基準達成地点数	27	27	27	26	24	24	24	27	28	24	23	24	24
		環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	発生源周辺	濃度範囲	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		平均値	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		調査地点数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		環境基準超過地点数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		環境基準達成地点数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		環境基準達成率	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

(注)単位は地下水質 pg-TEQ/L、土壌 pg-TEQ/g である。
土壌（発生源周辺）については、平成 16 年度で調査が完了したため平成 17 年度以降については実施していない。

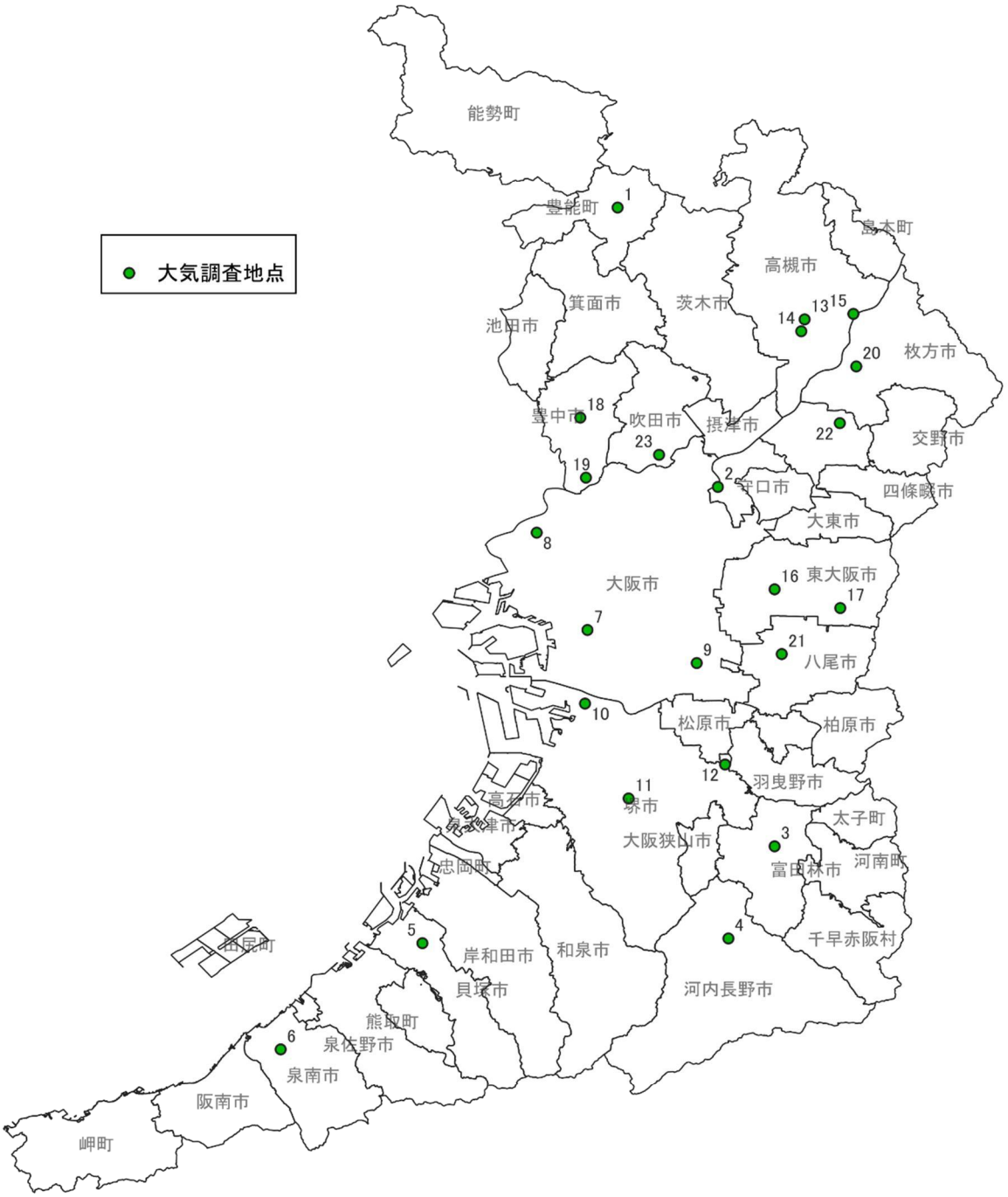

図６　令和６年度大気常時監視地点図

国土交通省国土政策局「国土数値情報（行政区域データ）」をもとに大阪府が編集・加工

表３　令和６年度ダイオキシン類常時監視結果（大気）

（環境基準：年間平均値 0.6 pg-TEQ/m³以下）

調査主体	測 定 地 点 名	測　定　値（pg-TEQ/m³）					図６
		春季	夏季	秋季	冬季	年平均値	地点番号
大阪府	豊能町役場局	—	0.0065	—	0.0064	0.0065	1
	淀川工科高校局	—	0.011	—	0.0099	0.010	2
	富田林市役所局	—	0.011	—	0.030	0.021	3
	三日市公民館局	—	0.0065	—	0.010	0.0083	4
	貝塚市消防署局	—	0.012	—	0.0097	0.011	5
	泉南市役所局	—	0.0081	—	0.0067	0.0074	6
大阪市	平尾小学校局	—	0.025	—	0.024	0.025	7
	淀中学校局	—	0.022	—	0.023	0.023	8
	摂陽中学校局	—	0.047	—	0.033	0.040	9
堺市	三宝局	—	0.039	—	0.034	0.037	10
	深井局	—	0.012	—	0.022	0.017	11
	美原丹上局	—	0.024	—	0.024	0.024	12
高槻市	高槻市役所局	0.0051	0.0063	0.0058	0.017	0.0086	13
	庄所局	0.0058	0.0058	0.0051	0.011	0.0069	14
	前島公民館	0.011	0.0063	0.0072	0.013	0.0094	15
東大阪市	東大阪市環境衛生検査センター局	0.0067	0.0093	0.0072	0.028	0.013	16
	東大阪市六万寺局	0.0077	0.0097	0.0098	0.036	0.016	17
豊中市	豊中市役所局	0.0061	0.0058	0.0041	0.0096	0.0064	18
	豊中市菰江公園局	0.0078	0.0088	0.0054	0.011	0.0083	19
枚方市	枚方市役所局	0.0093	0.013	0.0092	0.014	0.011	20
八尾市	八尾市保健所局	0.014	0.020	0.015	0.027	0.019	21
寝屋川市	成田局	0.0079	0.0074	0.0048	0.022	0.011	22
吹田市	吹田簡易裁判所局	0.011	0.0059	0.0069	0.013	0.0092	23
	平均値	0.0084	0.014	0.0073	0.019	0.015	

図７　令和６年度河川・海域常時監視地点図

国土交通省国土政策局「国土数値情報（行政区域データ）」をもとに大阪府が編集・加工

表４　令和６年度ダイオキシン類常時監視結果（河川水質・底質）
（環境基準：水質　年間平均値１ pg-TEQ/L 以下、底質　150 pg-TEQ/g 以下）

調査主体	水域名	河川名	調査地点名	水質測定値 (pg-TEQ/L)					底質測定値 (pg-TEQ/g)	図７地点番号
				１回目	２回目	３回目	４回目	年平均値		
大阪府	神崎川	水無瀬川	名神高速道路高架橋下	0.032	0.038	—	—	0.035	0.19	1
		神崎川	新三国橋	0.15	0.13	—	—	0.14	4.7	2
		左門殿川	辰巳橋	0.11	0.075	—	—	0.093	11	3
		安威川	宮鳥橋	0.064	0.042	—	—	0.053	0.17	4
		茨木川	安威川合流直前	0.24	0.17	—	—	0.21	0.38	5
		箕面川	府県境	0.037	0.037	—	—	0.037	0.64	6
	寝屋川	寝屋川	住道大橋	0.48	0.34	—	—	0.41	3.8	7
		恩智川	福栄橋下流100m	0.43	0.51	—	—	0.47	1.6	8
		恩智川	住道新橋	0.68	0.30	—	—	0.49	6.8	9
	大和川	千早川	石川合流直前	0.064	0.047	—	—	0.056	0.094	10
		石見川	新高野橋	0.038	0.031	—	—	0.035	0.093	11
		西除川	狭山池合流直前	0.11	0.096	—	—	0.10	0.21	12
	泉州諸河川	大津川	大津川橋	0.13	0.15	—	—	0.14	0.35	13
		春木川	春木橋	0.21	0.34	—	—	0.28	0.34	14
		津田川	昭代橋	0.52	0.56	—	—	0.54	0.49	15
		見出川	見出橋	0.28	0.20	—	—	0.24	0.72	16
		佐野川	昭平橋	0.21	0.38	—	—	0.30	1.8	17
		樫井川	樫井川橋	0.26	0.28	—	—	0.27	0.57	18
		男里川	男里川橋	0.19	0.093	—	—	0.14	0.83	19
		大川	昭南橋	0.095	0.14	—	—	0.12	0.44	20
		東川	こうや橋	0.094	0.10	—	—	0.097	0.56	21
近畿地方整備局	淀川	淀川	枚方大橋（中央）	0.18	—	—	—	0.18	0.24	22
		淀川	菅原城北大橋	0.15	—	—	—	0.15	0.24	23
	神崎川	猪名川	利倉橋	0.12	—	—	—	0.12	0.27	24
	大和川	大和川	遠里小野橋（中）	0.41	—	—	—	0.41	0.26	25
大阪市	神崎川	神崎川	小松橋	0.19	0.17	—	—	0.18	3.8	26
		神崎川	千船橋	0.095	0.064	—	—	0.080	40	27
	大阪市内河川	大川	桜宮橋	0.22	—	—	—	0.22	15	28
		堂島川	天神橋（右）	0.39	0.18	—	—	0.29	3.6	29
		土佐堀川	天神橋（左）	0.29	0.24	—	—	0.27	1.4	30
		東横堀川	本町橋	0.17	0.14	—	—	0.16	3.0	31
		道頓堀川	大黒橋	0.67	0.84	0.22	0.46	0.55	81	32
		六軒家川	春日出橋	0.22	—	—	—	0.22	100	33
		正蓮寺川	北港大橋下流700m	0.11	—	—	—	0.11	27	34
		安治川	天保山渡	0.11	—	—	—	0.11	37	35
		尻無川	甚兵衛渡	0.21	—	—	—	0.21	71	36
		木津川	千本松渡	0.24	—	—	—	0.24	83	37
		木津川運河	船町渡	0.43	0.12	—	—	0.28	150	38
		住吉川	住之江大橋下流1,100m	0.098	—	—	—	0.10	53	39
	寝屋川	平野川	城見橋	0.19	0.27	—	—	0.23	85	40
		平野川	南弁天橋	0.23	—	—	—	0.23	14	41
		平野川分水路	天王田大橋	0.094	—	—	—	0.094	5.5	42
		古川	徳栄橋【中茶屋橋】※	0.54	0.23	0.44	0.94	0.54	22	43
		寝屋川	今津橋	0.76	0.68	0.54	0.80	0.70	6.3	44
		寝屋川	京橋	0.30	0.33	—	—	0.32	2.0	45
		第二寝屋川	下城見橋	0.14	0.20	—	—	0.17	4.3	46
堺市	大和川	西除川	大和川合流直前	0.087	—	—	—	0.087	1.2	47
		東除川	新大阪橋	0.10	—	—	—	0.10	1.2	48
	泉州諸河川	内川	堅川橋	0.16	—	—	—	0.16	90	49
		石津川	石津川橋	0.064	—	—	—	0.064	1.7	50
		和田川	小野々井橋	0.46	—	—	—	0.46	1.4	51
高槻市	淀川	檜尾川	磐手杜神社	0.070	—	—	—	0.070	0.45	52
	芥川	芥川	鷺打橋	0.062	—	—	—	0.062	2.1	53
	神崎川	番田井路	玉川橋	0.13	—	—	—	0.13	1.0	54
東大阪市	寝屋川	恩智川	三池橋	0.71	0.40	—	—	0.56	3.4	55
		第二寝屋川	新金吾郎橋	0.23	0.12	—	—	0.18	1.2	56
豊中市	神崎川	千里川	猪名川合流直前	0.098	0.078	—	—	0.088	0.67	57
枚方市	淀川	船橋川	新登橋上流	0.071	0.13	—	—	0.10	0.71	58
		穂谷川	淀川合流直前	0.086	0.14	—	—	0.11	0.66	59
		天野川	淀川合流直前	0.091	0.13	—	—	0.11	0.65	60
八尾市	寝屋川	玉串川	JAグリーン大阪前	0.49	0.27	—	—	0.38	—	61
		平野川	東竹渕橋	0.97	0.11	—	—	0.54	4.7	62
寝屋川市	寝屋川	寝屋川	萱島橋	0.11	0.074	—	—	0.092	4.8	63
吹田市	神崎川	正雀川	安威川合流直前	0.24	—	—	—	0.24	1.2	64
							平均値	0.22	15	

（注）・※の【　　】内は、底質を採取した地点を示す。

・底質の年間測定回数は1回である。

・*は環境基準超過を示す。（令和６年度は該当なし）

・近畿地方整備局（国土交通省）においては、大阪府及び関係機関と協議をして、調査測定を実施している。

表５　令和６年度ダイオキシン類常時監視結果（海域水質・底質）

（環境基準：水質　年間平均値１ pg-TEQ/L 以下、底質　150 pg-TEQ/g 以下）

調査主体	水域名	測定地点名	水質測定値 (pg-TEQ/L)	底質測定値 (pg-TEQ/g)	図７地点番号
大阪府	大阪湾(1)	南港西（C-3）	0.039	10	1
	大阪湾(2)	泉大津沖（B-4）	0.033	11	2
	大阪湾(3)	りんくう沖（A-3）	0.034	9.2	3
	大阪湾(4)	尾崎沖（A-7）	0.045	8.3	4
	大阪湾(5)	観音崎沖（A-11）	0.032	1.1	5
大阪市	大阪湾(1)	神崎川河口中央（O-4）	0.17	31	6
		淀川河口中央（O-5）	0.089	5.2	7
堺市	大阪湾(1)	堺7-3区沖（S-1）	0.026	14	8
		平均値	0.059	11	

（注）年間測定回数は1回である。

表６　令和６年度ダイオキシン類常時監視結果（地下水質）

（環境基準：年間平均値１ pg-TEQ/L 以下）

調査主体	所在地	測定値 (pg-TEQ/L)
大阪府	箕面市外院	0.061
	大東市灰塚	0.032
	太子町大字太子	0.029
	高石市取石	0.035
	熊取町小谷南	0.030
	阪南市山中渓	0.030
大阪市	大阪市住吉区万代東	0.10
堺市	堺市南区別所	0.026
	堺市東区大美野	0.015
高槻市	高槻市明田町	0.057
東大阪市	東大阪市西石切町	0.18
	東大阪市西岩田	0.096
豊中市	豊中市島江町	0.54
枚方市	枚方市出口	0.063
八尾市	八尾市光南町	0.062
	八尾市木の本	0.062
寝屋川市	寝屋川市寝屋川公園	0.070
	寝屋川市木屋元町	0.055
吹田市	吹田市山田丘	0.069
	吹田市山田東	0.12
	平均値	0.087

（注）年間測定回数は1回である。

表７　令和６年度ダイオキシン類常時監視結果（土壌一般環境調査）

（環境基準：1,000 pg-TEQ/g 以下）

調査主体	測定地点		測定値
	所在地	地点名	(pg-TEQ/g)
大阪府	箕面市小野原東	南の杜公園	0.063
	大東市寺川	大東寺川住宅	2.0
	太子町大字春日	磯長台第二公園	3.2
	和泉市鶴山台	鶴山台志保池公園	1.8
	泉南郡熊取町山の手台	山の手台２号公園	7.5
	阪南市光陽台	阪南市中央運動広場	1.7
柏原市	柏原市国分市場	国分市場緑地公園	0.099
大阪市	大阪市西成区千本中	千本小学校	0.033
	大阪市城東区鴫野西	鴫野公園	0.22
堺市	堺市堺区七道西町	錦西大和川公園	0.0088
	堺市北区新金岡町	金岡東第3公園	0.029
	堺市北区金岡町	金岡町セコイア公園	0.051
	堺市西区浜寺南町	浜寺南町ふきのとう広場	0.040
高槻市	高槻市竹の内町	竹ノ内小学校	0.93
東大阪市	東大阪市加納	加納公園	2.1
	東大阪市長田	長田東公園	9.0
豊中市	豊中市三和町	菰江公園	0.0017
枚方市	枚方市中宮山戸町	中宮小学校	1.4
八尾市	八尾市桂町	桂小学校	0.0040
	八尾市竹渕東	竹渕小学校	0.042
寝屋川市	寝屋川市東神田町	神田中央公園	1.0
	寝屋川市讃良東町	南寝屋川公園	11
	寝屋川市高宮あさひ丘	太秦２号公園	2.0
吹田市	吹田市江坂町	江坂公園	4.8
		平均値	2.0

（注）・年間測定回数は1回である。

・柏原市においては、大阪府と協議して調査測定を実施している。

２　追跡調査結果

令和６年度に地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所等と連携して、過去の常時監視で環境基準を超過した２河川（三箇牧水路、左門殿川）で追跡調査を実施しました。その結果は、次のとおりです。

① 三箇牧水路

常時監視地点である神崎川「新三国橋」については、調査を開始した平成 12 年度以降、水質環境基準の超過がみられたことから、平成 13 年度から原因究明のための追跡調査を実施し、平成 17 年度に神崎川水域・番田水路上流の三箇牧水路に、高濃度のダイオキシン類を含有する底質の存在が判明しました。そこで、平成 18 年度に「鳥飼北部排水機場」より上流の高濃度区間において、底質除去工事（工事期間：平成 18 年 10 月～平成 19 年 3 月）を実施しました。

平成 19 年度からは、底質除去工事後の経過を監視するため、水質及び底質の調査を行っています。

【調査内容】

底質除去工事後の経過を監視するために、５地点(西面橋、地点６、９、13、番田水路(鶴野橋))で水質を、３地点（地点６、９、13）で底質の調査を実施しました（図８）。

【調査結果】

水質については、地点６（年平均 1.4 pg-TEQ/L)、地点９（年平均 1.2 pg-TEQ/L)、地点 13（年平均 1.1 pg-TEQ/L）で環境基準を超過したものの、その他の地点については環境基準の超過はありませんでした（表８)。底質については、地点９(200 pg-TEQ/g)で環境基準を超過したものの、対策前の濃度に比べ低い値であり、対策後の改善が確認されています。地点６では、対策後、平成 24 年度以外は基準以下であり、改善が確認されています（表９)。

【今後の対応】

三箇牧水路については、底質除去の対策が講じられていますが、追跡調査では、水質及び底質の環境基準を超過する場合もあったことから、今後も同地点において水質・底質のモニタリングを行い、対策後の経過を監視するとともに、汚染の再発防止のため周辺事業所の指導を継続します。

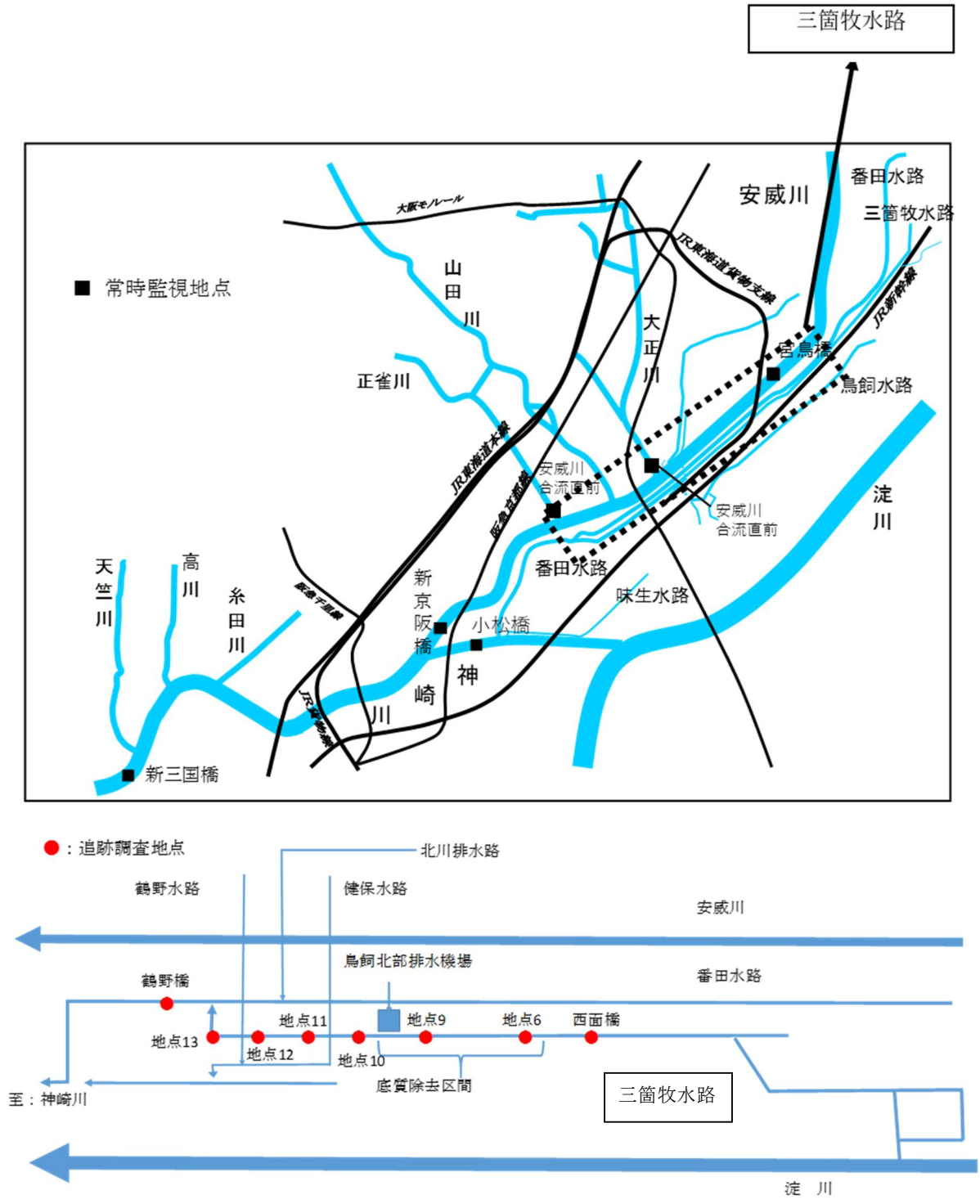

図８　三箇牧水路底質除去区間及び追跡調査地点図

表８　底質除去工事前後の三箇牧水路水質

ダイオキシン類水質濃度（pg－TEQ／L）									
河川名		三箇牧水路							番田水路
調査地点		西面橋	地点6	地点9	地点10	地点11	地点12	地点13	鶴野橋
対策前	H17.1.13	－	－	－	**55**	－	－	－	**9.3**
	H17.7.20	**2.8**	**71**	－	**40**	－	－	－	**3.2**
	H17.11.15	0.65	**5.2**	－	**58**	－	－	－	**1.2**
平成19年度	H19.7.3	0.75	**1.7**	**75**	－	－	－	**8.0**	**1.2**
	H19.10.23	0.15	**1.1**	0.78	－	－	－	**1.7**	**2.0**
	H20.1.11	0.47	**1.2**	**1.7**	－	－	－	**5.9**	0.41
平成20年度	H20.9.1	**1.1**	**1.6**	**1.4**	－	－	－	0.90	0.93
	H21.1.28	0.19	0.25	0.60	－	－	－	0.63	(※1)
平成21年度	H21.9.25	0.60	**1.2**	0.61	－	－	－	**1.1**	0.81
	(※2) H22.1.28	**2.7**	**1.8**	**2.1**	－	－	－	**3.5**	(※3)
平成22年度	H22.9.7	**2.6**	**3.2**	0.88	－	－	－	**3.3**	0.66
	H23.1.25	0.42	0.37	0.51	－	－	－	1.0	0.31
平成23年度	H23.9.13	**4.6**	**3.4**	0.46	－	－	－	0.52	0.99
	H24.1.26	**4.3**	0.28	0.27	－	－	－	0.34	0.16
	年平均値	**4.5**	**1.8**	0.37	－	－	－	0.43	0.58
平成24年度	H24.5.21	**6.3**	－	－	－	－	－	－	－
	H24.7.27	0.18	－	－	－	－	－	－	－
	H24.9.28	0.31	**2.0**	**1.2**	－	－	－	**1.6**	**2.2**
	H25.1.28	0.20	－	－	－	－	－	－	－
	H25.1.29	0.15	0.24	0.41	－	－	－	0.25	0.61
	年平均値	**1.4**	**1.1**	0.81	－	－	－	0.93	**1.4**
平成25年度	H25.11.6	0.14	**3.0**	**1.8**	－	－	－	**2.9**	0.56
	H26.1.15	0.11	0.68	0.37	－	－	－	0.31	0.29
	年平均値	0.13	**1.8**	**1.1**	－	－	－	**1.6**	0.43
平成26年度	H26.9.29	0.25	**1.5**	**1.6**	－	－	－	**4.8**	0.74
	H26.9.30	－	－	－	**1.5**	**1.4**	**5.6**	－	－
	H27.2.10	0.17	0.99	0.43	0.81	1.9	0.97	**1.1**	0.16
	年平均値	0.21	**1.2**	1.0	**1.2**	**1.7**	**3.3**	**3.0**	0.45
平成27年度	H27.10.9	0.65	**2.0**	**1.4**	－	－	0.97	0.98	0.36
	H28.1.15	0.34	0.48	0.29	－	－	0.32	0.23	0.23
	年平均値	0.50	**1.2**	0.85	－	－	0.65	0.61	0.30
平成28年度	H28.7.4	**1.8**	**6.3**	**2.9**	－	－	**2.1**	**2.0**	**1.2**
	H29.1.26	0.21	0.51	0.28	－	－	0.85	0.85	0.18
	年平均値	**1.0**	**3.4**	**1.6**	－	－	**1.5**	**1.4**	0.69
平成29年度	H29.11.22	0.52	0.16	0.47	－	－	0.14	0.16	－
	H29.11.28	－	－	－	－	－	－	－	0.24
	H30.1.10	0.81	0.59	**1.3**	－	－	**1.6**	**1.3**	0.16
	年平均値	0.67	0.38	0.89	－	－	0.87	0.73	0.20
平成30年度	H30.10.17	0.069	**1.1**	**1.7**	－	－	0.49	1.0	0.43
	H31.1.9	0.10	0.80	0.91	－	－	0.58	0.78	0.25
	年平均値	0.085	0.95	**1.3**	－	－	0.54	0.89	0.34
令和元年度	R1.11.7	0.096	0.63	**1.1**	－	－	0.88	0.72	0.16
	R2.1.14	0.31	0.97	**1.5**	－	－	0.65	0.77	0.21
	年平均値	0.20	0.80	**1.3**	－	－	0.77	0.75	0.19
令和2年度	R2.10.22	0.18	0.53	0.61	－	－	0.51	1.9	0.080
	R3.1.7	0.43	**2.0**	0.37	－	－	**1.1**	**2.3**	0.26
	年平均値	0.31	**1.3**	0.49	－	－	0.81	**2.1**	0.17
令和3年度	R3.10.20	0.27	0.67	1.1	－	－	－	0.75	0.14
	R4.1.20	0.25	0.37	0.5	－	－	－	**5.2**	0.39
	年平均値	0.26	0.52	0.8	－	－	－	**3.0**	0.27
令和4年度	R4.10.26	0.12	0.35	**1.2**	－	－	－	**1.8**	0.33
	R5.1.25	0.070	**2.8**	0.31	－	－	－	0.49	0.11
	年平均値	0.010	**1.6**	0.76	－	－	－	**1.1**	0.22
令和5年度	R5.10.24	0.040	**1.2**	0.62	－	－	－	**1.2**	0.18
	R6.1.23	0.23	0.75	0.29	－	－	－	**1.2**	**1.2**
	年平均値	0.14	0.98	0.46	－	－	－	**1.2**	0.69
令和6年度	R6.10.21	0.067	**1.6**	**1.5**	－	－	－	0.82	0.27
	R7.1.8	0.46	**1.2**	0.96	－	－	－	**1.3**	0.21
	年平均値	0.26	**1.4**	**1.2**	－	－	－	**1.1**	0.24

追跡調査の分析機関は大阪府立環境農林水産総合研究所（H24 以降）。太字は環境基準値超過を示す。
※1　河川工事により河川水無し。
※2　降雨時及び降雨後に採水したため、水質濃度が高かったものと考えられる。
※3　降雨による濁度で三箇牧水路と比較・検討できないため、採水を中止。

表９　鳥飼北部排水機場上下流部の底質

河川名		調査地点	ダイオキシン類 底質濃度（pg-TEQ/g）											
			対策前		対策後									
			H17.11.15	H18.6.29	H19.7.3	H19.10.17（下層）	H20.9.1	H21.9.25	H22.9.7	H23.9.13	H24.7.27	H24.9.28	H25.11.6	H25.11.13
三箇牧水路	上流	暗渠入口	–	–	–	–	–	–	–	–	14	–	–	–
		西面橋	13	–	–	–	–	16	–	–	26	–	–	–
		地点６	**11,000**	**15,000**	–	–	120	79	58	72	–	**240**	88	–
		地点９	**3,100**	**4,800**	–	–	**1,000**	**340**	**340**	**430**	–	**220**	**220**	–
	下流	地点１０	–	**1,800**	–	–	–	–	–	–	–	–	–	**250**
		地点１１	–	–	**2,100**	**20**	–	–	–	–	–	–	–	**730**
		地点１２	–	–	**1,200**	**25**	–	–	–	–	–	–	–	**270**
		地点１３	–	–	**590**	**4.4**	–	–	–	–	–	–	–	140

河川名		調査地点	ダイオキシン類 底質濃度（pg-TEQ/g）											
			対策後											
			H26.9.29	H27.10.16	H28.6.24	H29.11.22	H30.10.17	R1.11.7	R2.10.22	R3.10.20	R4.10.26	R5.1.25	R5.10.24	R6.10.21
三箇牧水路	上流	暗渠入口	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
		西面橋	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
		地点６	130	110	110	140	79	88	69	71	100	–	82	42
		地点９	**290**	**260**	**270**	**180**	**220**	**270**	**250**	**510**	**160**	**230**	87	**200**
	下流	地点１０	140	**270**	**270**	120	**170**	150	**160**	–	–	–	–	–
		地点１１	**630**	**370**	**660**	150	**180**	**250**	**190**	–	–	–	–	–
		地点１２	**290**	**220**	**280**	130	**450**	**330**	**190**	–	–	–	–	–
		地点１３	**210**	120	130	150	**210**	**230**	110	81	**160**	–	**210**	140

追跡調査の分析機関は大阪府立環境農林水産総合研究所（H24 以降）。太字は環境基準値超過を示す。
※H19.10.17　下層：水路底面より 10-19cm 下部の底質で厚み 30cm 程度の試料を分析（下層は粘土層であり、表層とは外観が明らかに異なる）
※H25.11.13　上層の試料を分析

②左門殿川

常時監視地点である左門殿川「辰巳橋」の底質は、調査を開始した平成 12 年度以降において、８回環境基準を超過しています。平成 28 年度以降は、令和３年度の常時監視にて底質が 370　pg-TEQ/g となり環境基準を超過しましたが、その他の調査では環境基準に適合しています（表 10）。

なお、水質については、環境基準を達成しています。

【調査内容】

底質の汚染状況の推移を把握するため、「辰巳橋」の流心において、底質の追跡調査を実施しました（図９、10）。

【調査結果】

常時監視及び追跡調査とも底質の環境基準を下回りました（表 10）。

【今後の対応】

令和７年度は追跡調査を実施せず、常時監視により引き続き経過を観察します。

【調査地点位置図】

図９　辰巳橋位置図

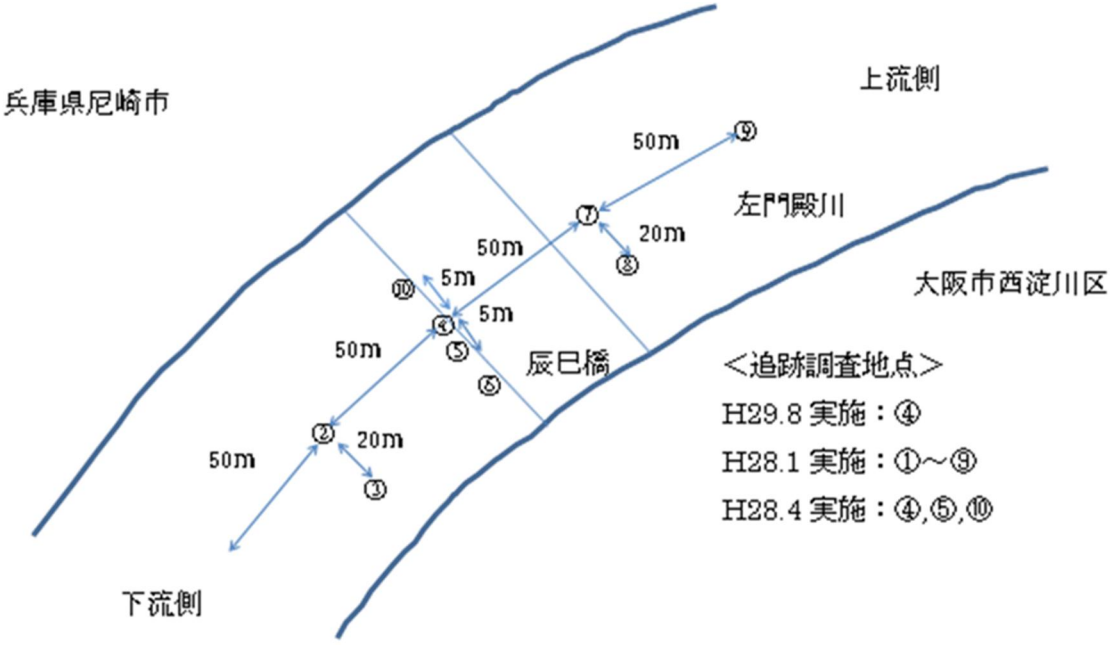

図 10　左門殿川追跡調査地点図

表 10　底質調査結果一覧

地点	地点位置	H27.7 常監	H28.1	H28.4	H28.7 常監	H29.7 常監	H29.8	R3.8 常監	R4.7 常監	R4.10	R5.7 常監	R5.10	R6.8 常監	R6.10
①	下流 100mの流心地点	—	53	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
②	下流 50mの流心地点	—	31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
③	下流 50m の流心より 20m 左岸寄	—	32	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	橋梁下流端の流心地点	***1,100***	87	72	***180***	71	49	***370***	81	22	15	15	11	18
⑤	橋梁下流端の流心より 5m 左岸寄	—	140	46	—	—	—	—	—	39	—	—	—	—
⑥	橋梁下流端の流心より 20m 左岸寄	—	71	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑦	上流 50mの流心地点	—	25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑧	上流 50m の流心より 20m 左岸寄	—	43	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑨	上流 100mの流心地点	—	21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑩	橋梁下流端の流心より 5m 右岸寄	—	—	46	—	—	—	—	—	30	—	—	—	—

追跡調査の分析機関は大阪府立環境農林水産総合研究所。太字は環境基準値超過を示す。